

Q 2 : 「私たちの道徳」の効果的な活用の仕方を教えてほしい。

A : 「私たちの道徳」は、「心のノート」を全面改訂したものであり、児童生徒が道徳的価値について自ら考え、実際に行動できるようになることをねらいとして作成された道徳教育用教材である。本教材は道徳の時間はもちろん、学校の教育活動全体を通じて、また家庭や地域においても活用されることが望ましい。

そこで、「私たちの道徳」の効果的な活用の仕方について、道徳の時間、各教科等、家庭や地域の3つの場面における活用例を示す。

1 道徳の時間での活用

道徳の時間においては、読み物資料やコラム、先人の格言などを活用して道徳的価値についての考えを深めたり、書き込み欄を活用して自分自身のことを振り返ったりすることができる。

活用例

●友情 2 - (3) 1・2年 (p. 74~p. 81)

	学 習 活 動	留 意 事 項
導 入	○友達と遊んだり、勉強したりしたことを想起する。(p. 74)【コラム】	・主題に関わる問題意識をもたせたり、学習への雰囲気づくりをしたりする。
展 開	○「およげないりすさん」を読んで話し合う。(p. 78~p. 81)【読み物資料】 ○友達と仲よくして楽しかったことやうれしかったことを振り返って書く。(p. 76~p. 77)【書き込み欄】	・自分との関わりで道徳的価値についての考えを深める。 ・書き込み欄を活用して、現在の自分自身を振り返る。
終 末	○「友じょうはよろこびを二倍にし かなしみを半分にする」の言葉について考える。(p. 75)【先人の格言】	・道徳的価値に対する思いや考えをまとめる。

2 各教科等での活用

各教科等においては、その目標や内容に応じて「私たちの道徳」の関連するページを活用し、児童生徒の道徳性を育成することができる。

活用例

■生活科 1・2年 (p. 122~p. 123)

公共物や公共施設を大切に、安全に気を付けて正しく利用することに関わる学習で活用する。

■社会科 3・4年 (p. 160~p. 161)

地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事などについて、調べてまとめる学習で活用する。

■外国語活動 5・6年 (p. 60~p. 61 p. 176~p. 177)

外国語を通じての他者とのコミュニケーションの在り方や世界の人々との関わりなどについて考える際に活用する。

3 家庭や地域での活用

「私たちの道徳」には、家庭で話し合ったことを書き込んだり、家の人を書き込んだりする欄が多く設けられており、家庭で活用することができる。また、「私たちの道徳」を介して、地域の人と共に活動したり、語り合ったりする機会を設けることもできる。

したがって、「私たちの道徳」は学校に備え置くのではなく、家庭に持ち帰り、家庭や地域での活用が求められる。家庭に持ち帰らせるに当たっては、例えば、学校・学級通信等を通じて家庭での活用の仕方を伝えたり、保護者会などで、家庭における活用の仕方等を説明したりすることで、効果的な活用が促進されるような働きかけが必要である。

活用例

●整理整頓をしっかりとできるように 1・2年 (p.15)

目当てをもって、身の回りの整理整頓を行えるようにするために、チェックシートを活用して自己点検する。教師と家の人とが学校や家庭での児童の様子を共通理解するとともに、家の人からの励ましの言葉などを生かしながら、整理整頓の習慣化を図るようにする。

●生活を支えてくれた高齢者に感謝の気持ちをもつように 3・4年 (p.84～p.85)

生活を支えてくれた高齢者についての理解を深め、感謝の気持ちをもつようにするために、書き込み欄を活用して地域の高齢者への取材活動を行い、自分たちの豊かな暮らしは、高齢者のこれまでの努力に支えられていたことに気付くようにする。

●家族の役に立てるように 5・6年 (p.159)

書き込み欄を活用して、家族の一員としての役割や家族へのメッセージを記入し、家族の一員としての自覚をもって、進んで家族の役に立とうとする意欲を高めるようにする。

●公德心や社会連帯の大切さ 中学校 (p.148～p.153)

公德心や社会連帯の大切さについて生活の中で感じたこと、また、町で見掛けた思いやりのある行為について、家の人と一緒に話し合い、よりよい社会づくりに向けた具体的な関わりを考える際に活用する。

●ふるさとの発展への貢献 中学校 (p.203)

ふるさとに貢献するために、自分に何ができるかを考える際に、三重県立相可高等学校の「まごの店」の運営などに関するコラムを活用する。

また、地域が抱えている課題を考え、住民一人一人がよりよく暮らせるようにするためにできることを家の人と話し合っって書き込むようにする。

「私たちの道徳」は、児童生徒が複数学年にわたって使用するものであり、考えたことや書き込んだことを振り返って、自らの成長を実感しながら道徳性を育てていくことができる。各学校においては、道徳教育の全体計画や道徳の時間の年間指導計画に位置付けるなどして全職員で共通理解を図り、児童生徒の発達段階を踏まえて計画的に活用することが大切である。

【参考資料】

- | | | |
|----------------------|--------|-----|
| ・私たちの道徳小学校活用のための指導資料 | H26.11 | 文科省 |
| ・私たちの道徳中学校活用のための指導資料 | H26.11 | 文科省 |